

都留文科大学報

Vol.140
July, 2019

特集 ワールド・ノート100号を迎えて

都留文科大学入学式／新教員紹介／学外研究報告
講演会だより／昨年度の就職状況／学生による授業アンケート
文大だより／ぶんだいでい堂



第46回鶴鷹祭 開催

都留文科大学入学式

— 今年の入学者は893名



4月3日(水)、都の杜うぐいすホールにおいて、平成最後の入学式となる、平成31年度都留文科大学入学式を行いました。

式典は、2部制で実施され、午前10時から行われた第一部では、学校教育学科・地域社会学科・国際教育学科・専攻科・編入生(社会学科)、午後1時30分から行われた第二部では、国文学科・英文学科・比較文化学科・大学院・編入生(国文学科・

英文学科・比較文化学科)を対象に行われました。

入学者の内訳は、教養学部：学校教育学科212名、地域社会学科174名、文学部：国文学科131名、英文学科150名、比較文化学科149名、国際教育学科53名、文学専攻科2名、大学院文学研究科9名、学部編入13名であり、合わせて893名の入学が認証されました。会場の大ホールは、

新入生のことば



文学部 比較文化学科
新入生代表 矢崎 ねね

やわらかな陽射しが降り注ぎ、春の息吹が感じられるこの佳き日に、伝統ある都留文科大学の入学式を迎えられたことを大変光栄に思います。私たちが今この場に臨むことができるのは、母校の先生方の熱心なご指導や家族の愛情、友人の励ましなど、多くの方々の支えのおかげです。そのことを心に留め、四年間という大学生活を充実したものにするため、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

社会を特徴付ける言葉として、グローバル化やIT化の進展が言われて久しい今日、確かに私たちの生活は、豊かで便利なものになりました。しかし、その一方で指摘されている経済格差やデジタル・デバイドなどの深刻化、異なる文化間の軋轢など、さまざまな問題も変わることも無く存在しており、改善の兆しは見えていません。又、成熟しているとは言えない異文化への理解や、国や人種に対する固定観念が拭ききれず、国家間の対立や紛争が絶えないのが現状です。

この様な問題点が浮き彫りになる中、昨年、外国人労働者の受け入れ拡大方針が正式に決定されました。少子高齢化によって、ますます労働人口が減少していく日本にとって大きな期待が膨らむ一方で、文化の異なる人々とのコミュニケーションや言語の壁などから、これらに対する好意的とは言えない反応があることも事実です。また、昨今の日本を取り巻く国際情勢はますます複雑化し、混沌とした現状から脱却するための方策も求められています。これらの解決には、過去に学びつつ、現実を直視して冷静に分析することが必要です。本当の意味でグローバル化していく為に、私たちは異文化理解をより深めて行き、受け入れていく事が、問題解決への糸口となります。

来る五月一日に「平成」から「令和」に改元がなされます。新たに始まるこの時代を、より善きものにしていく為に、平成最後の入学生となる私たちは、全国から、世界から多くの仲間が集まるこの都留文科大学で、さまざまな歴史や文化について学び、多くの知識を得て、問題に立ち向かう真の英知を身に付けていく必要があります。仲間とともに学び、互いに切磋琢磨しながら、豊かな人間性を磨くとともに、新たな挑戦によって自分の世界を大きく広げ、成長していきたいと思ひます。そして、私たちがとりまく世界に貢献できるよう精進していくことをここに誓い、新入生の言葉といたします。



入学者およびその保護者でほぼ満員となりました。

式は、理事長のあいさつ、学長の祝辞、来賓の方々からのお祝いの言葉、新入生代表の言葉と続き、最後は、吉田悟氏の指揮による本学管弦楽団の演奏にのせて、本学合唱団とともに学生歌「花のかげ」を全員で合唱し、厳粛なうちに終了しました。



教養学部 学校教育学科
新入生代表 堀内 愛加

うらかな春の日差しに包まれるこの良き日に、私たちは都留文科大学の入学式を迎えることができました。

本日は私たち新入生のためにこのような式典を挙げていただき、誠に有難うございます。新入生を代表して厚く御礼申し上げます。私たちは今、伝統ある都留文科大学の一員と認められた喜びをかみしめるとともに、新たに始まる大学生活をかけがえのないものにすべく、日々精進して参る決意を新たにしております。

世の中の移り変わりが激しいことを例える、十年一昔という表現があります。しかし、私たちの生きている現代社会は、十年に満たない短い期間で大きく変化してしまうのが現状です。そして、その変化のサイクルはさらに早くなる傾向にあります。私が学ぼうとしている教育の世界でも、深刻な少子化による学校の統廃合、学校行事や部活動の困難化、子供の切磋琢磨の機会の減少など、子供達を取り巻く環境がめまぐ

るしく変化しています。そうした社会の中では、子供達の心に寄り添い、安心できる居場所を作ることが求められると思います。都留文科大学で、一人一人の子どもに楽しさを伝えられるような知識と技術を身につけてゆきます。

また、二〇二〇年から小学校における英語教育が大きく変化することからも、今まで以上のグローバル化が私たちの身近な所でも感じられるようになっていきます。そのような中で、交換協定に基づいた留学生との豊富な交流の機会を得ることができる都留文科大学は、優れた国際感覚を養える場でもあります。さらに、全国各地から集まる仲間、異なる習慣や文化との出会いの機会を与えてくれる存在です。勉学に励むだけでなく、部活動やサークル活動を通して多くの人とつながりを持ち、海外留学やボランティアへの参加など、学生であるときにしか出来ない事に挑戦して、グローバルな視野と豊かな人間性をはぐくむ努力をして参ります。

これから始まる四年間の大学生活では、困難に出会うことも少なくありません。その様なときには、互いに励ましあい支えあえる学友を持ち、問題を克服していきたいと思っております。共に困難を乗り越えた仲間は、社会に出てからも心の支えとなるでしょう。

私たち新入生一同、都留文科大学の一員である事を誇りに、日々精進し、有意義な大学生活を送ることを誓い、新入生のことばといたします。

大学は何をするところか



都留文科大学学長 福田誠治

この度、晴れて都留文科大学に入学なさった皆さん、おめでとうございます。都留文科大学の教員と職員を代表して、お祝い申し上げます。また、この日を待ちわびていらっしゃるご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。家族の期待を担ってきたお子さんたちも、きっと感謝の思いを持っているものと推測いたします。少し、新入生の皆さんに大学で学ぶ心構えのようなものをお話しいたします。

五〇年も前になります。世界中で大学生が立ち上がりました。古い権威に挑戦する若者の抗議運動は、労働者たちの支持も得て、旧来の支配体制を転換させる発端となります。教授会支配体制に異を唱える一九六六年に起こったストラスブール大学の学生運動から事は始まりますが、一九六七年にはソルボンヌ大学に飛び火し、「パリ五月危機」が発生します。一九六八年には、米国では、ベトナム戦争反対の学生運動と合流して大学改革運動へと拡大しました。その波は日本にも及び、一九六八年の秋には東京大学の安田講堂が占拠され翌年の入学試験が中止されるに至ります。しかし、これで驚いてはいけません。都留文科大学は、それらに先駆けて一九六五年に騒動を起こしていますから。

この学生運動の直後、UNESCOの「教育発展国際委員会」は、認識論の偉大な研究者ジャン・ピアジェに、大学はどうあるべきかを諮問しました。この求めに応じて、ピアジェは、「教育はどこへ行くのか」という短い報告書を一九七一年に書きしたためました。

彼は、「習得すべき真理をただ単に伝達することを止め、生徒が自分自身ですべての真理を発明したり、再構成したりできるようにすること」だと提案します。

大学ですることは、学問を覚えることではなく、考えて、考えて、自分が発明したかのように思えるほど考えて、実際に使ってみて、確かめるとい

うのです。

しかも、五〇年前に、こんなことも言っていたのです。

「学部制度はいま大きな害をもたらしていますが、この害を小さくするためには、学部を廃し、そのかわりに、あらゆる種類の流動的な組合せの可能な学際的な学群を置く必要があります。」

古い学問にしがみついているのはダメだ。世の中の変化について行けるように、新しい研究を生み出さなくてはならないということです。そのためには、二つの基本的原則が着実に実行されることだと、ピアジェは釘を刺します。

「その第一の原則は、教育と研究の緊密な結びつきであります。学生は、既存の学問についてたとえ何も分からなくても構いません。初歩を学び始めた年から研究活動に参加し、すでに解決された問題を解くのではなくて、新しい未解決の問題の解決に加わってゆかねばならないのです。」

「第二の原則は、グループで研究することです。この場合にも、研究を指揮するのは一人の教授ではありません。絶えず協力体制をとって研究を行う相補的な各専門分野の代表が、集団で指導を行うのです。」とピアジェは言いました。

古い学問を永遠の真理だと言って、それを若者に伝達するところが大学なのだと一般には考えられています。しかも、古い大学では、一人ひとりの研究者がそれぞれバラバラに授業を行っていきます。ピアジェは、多数の領域の研究者が協力して若者の教育に当たろうと言ったのです。

さらに、若者はまだ研究者ではないけれど、研究プロセスに加えてもらって、未解決の問題に取り組みながら、研究者といっしょに学んでいけば彼は言っているのです。

ピアジェは、構成主義の創始者とされています。構成主義とは、知りたいと思うことが第一で、なぜだろうと探究し、こうなっているのかと理解し、友人と話し合ったり、ネットで確かめたりしなが



らこれまでの理解を修正し、必要なら全体を整理し直し、分かったぞと納得いけば、それはその人の知識です。

しかも彼は、子どもは正しい答えを発見するのではなく、発明ないし再構成するのだとも言っていました。正しい答えに気づくのではなく、その時その時の答えを作っていくわけです。活動的方法 (*méthodes actives*) と彼は呼びますが、今日のアクティブ・ラーニングに通じる斬新な考えです。

例えばです、ヨーロッパ人は「地理上の発見」と言いますが、アメリカ大陸にはすでに多数の人が住んでいました。だから、私有地の無い無主地、所有者のいない新大陸、神が約束した自由の天地という物語を発明したのです。一九六〇年頃までには、米国の歴史の教科書からネイティブ・アメリカンの痕跡は消し去られてしまいます。事実を見ようともしなくなったわけです。土地は発見されたけれど、人間は発見されなかった。そんなことあると思いますか。

若い皆さんも負けてはいけません。自分の知りたいと思う心を大切にして、常に「なぜ」と

考え、古い学問に潜む偽りを見抜き、知識と知識をつないで新しい知識を創り出し、自分らしいストーリーを発明する。なるほどそうだったのかと感動し、楽しく学んで欲しいということです。

大学は修行の場です。授業料は入山料のようなものです。安心して思う存分修行できる環境を大学は提供します。学ぶか学ばないか、それを最後に決めるのは皆さん一人ひとりです。学歴では無く、身に付けた実力が皆さんの人生を創り出していくはずです。

今日の良き日に、これを皆さんへの励ましのことばとしたいと思います。

地域の自然や文化をじかに学ぶ試み —『フィールド・ノート』100号を迎えて—



地域交流研究センター 北垣 憲仁

2002年に創刊した冊子、『フィールド・ノート』が100号を迎えた。この冊子を構想するきっかけになったのは、私が授業で配布していたA4用紙1枚の資料である。当時は、ようやくパソコンのデスクトップ上で編集ができる環境が整いつつあった。そこで都留の自然について記録を残し授業でも地域の自然の魅力を紹介する目的で、写真を配置した見栄のよい資料を配布することにした。すると、自在にレイアウトできるのなら編集をしてみたいという声からあがった。学生と冊子をつくれば、一人でやるよりも幅広い視点で地域の自然を見つめ直すことができるかもしれない。さっそくデスクトップ型のパソコン1台とモノクロのプリンター、スキャナーを用意し冊子を編集するための最低限の環境を整え、学生5人とともに編集を始めた。野外で記録用に使っていたノートを私たちは「フィールド・ノート」と読んでいたことから、これをそのまま冊子の名前とした。

まず見本誌を創ろうということになったけれども、だれひとり編集ソフトやレイアウトの基本を学んだ者はいない。雑誌のスタイルをまねながらの試行錯誤が続く。誤字・脱字はあたりまえ、ひどいときには印刷の時点で段落がそっくり抜け落ちていることもあった。しかし学生にとっては、拙い紙面でも見本紙が完成したことが何より嬉しかったようだ。すぐに次の号を

出そうということになり、その後、毎月1号のペースで発行していくことになる。テーマも私の関心だった地域の自然から、「ゴミ」、「水掛菜」、「山葵（わさび）」など学生の好奇心と関心に沿った特集が組まれていった。

編集作業の基本はいまも変わらない。空き時間を利用して学生は編集作業をする部屋にやってくる。まず自ら関心のあるテーマで企画を立てる。そしてじっさいに地域での取材や観察から戻ると、記事にする作業に取りかかる。それが終わるとレイアウトを仕上げ入稿の準備をしていく。毎月1号の発行では編集作業自体が窮屈なスケジュールとなりやすい。そこで発行回数を年4回に減らして丁寧な校正を心がけることにした。これは学生の提案によるもので現在までその編集の姿勢は変わらない。

このほかにも、『フィールド・ノート』を捨てずに書棚に入れておきたくなるよう背表紙に冊子名を入れることにしたのも、A4の判型を持ち運びしやすいB5判に変えたのも、読者を招いての交流会を開催したのもすべて学生の提案によるものだ。

読者からの反響は創刊から10年ほど経つころから増え始めた。「日常の身近なところにあるものを見逃さずていねいに記録する、ささやかなことにもじっくり目を向けてみることの豊かさを感じました」、「都留という地方の一都市



画面上で編集作業をする



記事を読みあい校正する



学生が主体となり編集に取り組む

だけでこれだけの冊子を発行できているとは驚きです」。「学生のみなさんはほとんど他県から来られているのに、こんなにも都留を愛してくれているのが伝わってきて嬉しくて頭が下がる思いです」。「学生さんたちが地域に生きる人びとにていねいに光を当てている記事を読んでいると、なにかとても美しいもの出会えた気持ちになります」。「地域からじかに学びその成果を発信し共有するのはまさに生きた博物館みたいですね」など読者からのさまざまな感想が寄せられるようになった。現在では、毎号700部を印刷し都留市だけでなく全国の読者に届けている。都留市内では大学附属図書館や喫茶店などに置かせていただいている。

私は当初、冊子のテーマはやがて尽きてしま

うだろうと思っていた。だが毎号、地域のあらたな魅力が掘り起こされ、学生と市民との小さな交流が生まれていった。こうして編集に携わった学生の卒業後の進路は教員や公務員、出版社、新聞社など多様である。ここでの編集や学びの経験を活かしてそれぞれの地域で仲間たちと冊子を作る卒業生もいる。

A4用紙1枚から始まった資料はいつしか私の当初の想いを離れ、人がつどい学びあう「博物館」のような役割を帯びる冊子になった。私の関心も、地域の身近な自然から人びとの暮らしや文化など幅広い世界へと広がっていった。そのどれもが『フィールド・ノート』にかかわった学生と市民に導かれてのことである。





国際教育学科 教授
青山 郁子

文大に着任するにあたって

今 年度から都留文科大学でお世話になります国際教育学科の青山郁子です。

どうぞよろしく申し上げます。前任校ではキャンパスに理系の学生が多かったのでおとなしかったのですが、文大の学生の第一印象は「明るくて元気!」でした。そして、4月

1週目のガイダンスで顔合わせを終えた今、皆しっかりと目的意識をもって入学してきている意欲的な学生さんたちだなと感じ、とても嬉しくなりました。自分自身が大学に入って初めて学ぶことってこんなに楽しいんだ!と感じた経験から、学生さんにも同じように感じてもらいたいと以前から思って授業をしてきました。初回の授業で早速、積極的に学ぶ姿勢を見せてくれて、これからますます楽しみになりました。国際バカロレアの教員養成という新しい試みでまだまだ手探りな点多いですが、いただいた機会を大切に、一生懸命貢献できるよう頑張りたいと思っています。皆様これからどうぞよろしく申し上げます。



国際教育学科 講師
佐々木南実

文大に着任するにあたって

本 年度より文学部国際教育学科に着任いたしました佐々木南実と申します。国際バカロレア機構勤務を経て、今年から本学にてIB関連の科目を担当させていただくことになりました。

アインシュタインの言葉に“education

is what remains after one has forgotten what one has learned in school” というものがあります。IBの文脈にこの言葉を当てはめてみると、それはThinking skills、Communications skills、Social skills、Self-management skills、Research skillsといったスキルに統合されます。未知なる未来に送り出す子供たちへの旅支度としてのこれらのスキルを教員はいかに教えて行けばいいのか、学生の皆さんとともに探究することを楽しみにしています。



学校教育学科 特任教授
山本 直紀

「ものづくり」を通しての 人材育成

私 はこれまで陶芸（工芸）を専門に大学で指導してきました。陶芸に限らず「ものづくり」は、本来、自由であり、主体的であり、活動的であるべきです。そしてこれは

「学び」の場においても同じことが言えると考えております。学生たちには「ものづくり」を通して自ら主体的に考え、学び、行動することを身につけてほしいと願っております。そのためにもまず興味を持たせることが大切になってきます。人は興味を持ち、自ら学びたい（知りたい）と思えば自然と学んでいきます。今の時代、インターネットを使えばすぐに何でも調べられますが、それが正しいという保証はどこにもありません。ですから疑問を持ち、自ら主体的に考え、学び、実践することが出来、教養と判断力を身につけている、これからの時代に求められるであろう人材の育成を目指し、共に学び合いたいと思っております。



地域社会学科 教授
佐脇 英志

世界で戦える若者の育成に力を尽くしたい

3年前に、20年間献身した国際ビジネス界から一転、大学で教鞭をとっています。きっかけは、長く激動のアジアビジネスに明け暮れた後に帰国し、失われた20年の日本の沈滞を見て、愕然としたことです。

1990年、「日本は資源のない小さな島国。貿易立国日本を支えるため、海外で身を粉にして働きたい」という一念で、私は海外に飛び出しました。当時、バブルの真只中、日本は「Japan as No.1」と称賛され、GDPは、アジア全体の70%近くを弾き出していました。

そして今、我が国のGDPは中国の1/3、アジア全体の10%台まで落ち込みました。失われた20年で沈滞化してしまった日本を再建するためには、夢と志を持って世界を切り開いていける若者が何よりも必要なのです。

都留文科大学は、日本全国から教育を中心に高い志を持った学生が集まる素晴らしい大学です。この地で「世界で戦える若者の育成」と、共に育てる同志の育成に力を尽くします。



地域社会学科 准教授
大野 直樹

文大に着任するにあたって

教 養学部地域社会学科に国際政治学の担当として着任しました大野直樹です。専門はアメリカ外交で、とりわけ情報機関CIAの分析官に注目しています。CIAと言えば、スパイ、暗殺といったダークな一面がありますが、分析官には地域研究で博士号を取得した学者肌が多いのも事実です。分析

官は学術的な知見を基に情勢分析を行います。時に政権中枢からの圧力によってその分析結果が捻じ曲げられることもあります。そうした制約の中で、なるべく「正しい」情勢認識に基づいた政策決定を目指す分析官たちの苦闘を研究しています。

一口にアメリカの情勢認識と言っても、分析官のそれと政権の有力者のそれとが乖離することもあり、また同じ地域を他国の分析官が分析すれば違った見解が生まれます。本学には全国各地から学生が集まりますが、それぞれの地元から見た日本の姿も多様でしょうし、世界の諸地域に対する認識も一様ではないでしょう。学生には、他の学生や教員と積極的に議論をし、多様なモノの見方の中に自身を位置付ける姿勢を養ってもらいたいと考えています。



教職支援センター 准教授
村上 憲司

着任するにあたって

私は昨年度まで都留市内の小学校に勤務し、教育実習や SAT 活動に参加する学生を、所属校の教員・管理職という立場でみてきました。特に SAT 活動が始まった初年度は、充実した活動となるよう、学生と一緒に試行錯誤したことが楽しい思い出と

なっています。その学生が今や中堅となり活躍していると聞き、大変嬉しく感じます。

近年の文大生は、教育実習生や SAT でも熱心に子どもたちに関わっており、学校現場としても大変助かっていた面がありました。さらに同じ職場で働く教職員の中には、文大卒業生で活躍されている先生も多く、この地域における大学の存在の大きさを改めて感じていたところです。

今回、縁あってお世話になることになりました。37年間の教職経験をいかし、次世代の教育を担う、魅力あふれ質の高い教員を一人でも多く輩出することを目指し尽力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



一年間の研修期間を終えて

国文学科教授 長瀬由美

昨年度（平成30年度）は一年間にわたる学外研修の機会をいただき、都留を離れ久々に母校である東京大学に身を置いて、研究に専念してきました。

当初からこの機会に、自分のこれまでの研究成果を見直し、必要な修正や再調査を加えていきたいと考えていましたが、研究員として受け入れてくださった東京大学の高木和子先生は存分にうち込めるよう何かとご配慮くださり、夏には古代文学研究会（東大国文学科上代・中古ゼミ OBOG による研究会）で発表するようはからってくださるなど（2018年8月『源氏物語』と花山・一条朝の文人たち』と題して発表）、おかげで先輩方の適切なお助言や、若い大学院生たちのみずみずしい意見や質問を受けとめながら、研究をまとめていくことができました。研修期間終盤の2019年2月には、初めての単著となる『源氏物語と平安朝漢文学』（勉誠出版）を無事刊行することができましたが、自分なりに納得のいくかたちで本にまとめることができたのも、ひとえに今回のような機会と恵まれた環境をいただけたことによるものと、心より感謝申し上げます。

平安朝漢文学研究は現在、平安前期については菅原道真を軸に、平安後期（院政期）は大江匡房を中心として研究が進展していますが、その谷間にあっ

て平安中期、十世紀から十一世紀はじめの漢文学については研究が進んでいません。平安時代というのは、近代によって“軟弱”のレッテルを貼られた「虐げられた時代」だとも言われますが（川尻秋生『平安京遷都』）、そのような視点でみれば、いわゆる「国風」時代にあたる平安中期、『源氏物語』の創られた時代の漢文学は、もっともそのあおりを食っているといえるのかもしれませんが。残された作品に限られているという資料的制約のうえに、「情緒的」で「観念的」で「形骸化」したものというイメージに覆われて、平安中期文人たちの具体的な姿や文学活動はいよいよ見えにくくなってしまっています。よって刊行した本書では、軟弱か観念的かという判断はいったん脇において、平安中期の漢詩文の言葉や表現が拠るところを丹念に追うことに努めました。大学寮が衰微しきっていない、しかし衰退を始める過渡期の「国風」時代の漢詩文は、本書後半で扱っている『源氏物語』がやはりそうであるように、その「国風」という言葉の枠では捉え難い複雑な豊かさを持っていることを些かでも明らかにしたつもりです。今後多くの方々のお御批正を仰いでさらに考察を深め、また新たに論を展開してゆきたいと考えています。





マコーリ大学言語学学科の入り口で



Global Englishes, Global Identities: Notes on sabbatical

Hamish Gillies,
Dept. of English

I am extremely grateful for having had the opportunity to step away from the classroom and devote a whole academic year to research. During the year I managed to arrange visiting researcher positions at two institutions: Edinburgh University (UK) and Macquarie University (Australia). Both sojourns, though ultimately brief, were extremely meaningful, and I returned to Tsuru with renewed energy, inspiration and curiosity.

Through the position at Edinburgh I was able to work with Dr. Nicola Galloway, a leading researcher in the field of Global Englishes. This is a growing field, with significant implications for English education around the world, especially in the so-called 'Expanding Circle' nations such as Japan. It challenges the traditional norms of English education, based as they are on a native-speaker-centric view of the English language. And it is an area that we in the English Department are currently developing and highlighting in our curriculum.

Meanwhile, after crossing to the other side of the equator, I spent three months at Macquarie University, in Sydney, collaborating with Dr. Peter Roger of the Department of Linguistics. This was a happy reunion, in that Dr. Roger was one of my teachers during my Master's studies at the very same institution, too many years previously! We both share a strong research interest in the area of language

learner motivation and identity, so to be able to meet face-to-face and talk research on a regular basis was a real treat. I had already determined to investigate this area through a drama-based approach to English learning, taking advantage of the unique combination of features that drama activities offer, such as role-playing and character analysis. Dr. Roger therefore assisted me in developing a research design that I have since applied in my teaching at Tsuru.

Beyond my research activities, the stay in Sydney provided me with another new challenge: with my wife having to remain in Yamanashi through her work commitments, we decided that our two daughters would accompany me to Australia, entering a local school in Sydney for the three months we were there. This provided a very natural rhythm to my life there: researcher by day, single daddy by night!

All in all, 2018 will stay with me for many years to come – a unique learning experience in so many important ways.



娘達とシドニーに



2019年度国語国文学会主催春季講演会

誤解される名句

—芭蕉「古池や」・蕪村「蟬啼や」・一茶「雀の子」—

開催：2019年6月5日（水） 講演者：長島弘明氏

松尾芭蕉の句「古池や蛙（かはづ）飛（とび）こむ水のおと」は、数多ある名句の中でも最も有名なものの一つであろう。その句をあげて「誤解される名句」という刺激的な演題を掲げた長島弘明氏の講演は、聴衆の期待を裏切ることなく、刺激に満ち溢れたものであった。

誰もが知る「古池や蛙飛こむ水のおと」の句について、長島氏は当時の資料をふまえ、この句が作られるにあたってどのような議論・推敲があったか、現在知られる句形に定まるまでにどのような揺れがあったかを検証す

る。和歌では「蛙」は「清流」や「山吹」とともにその「鳴き声」を賞し詠むものであり、それが「蛙」の本意・本情であった。それに対し、伝統的な美意識を踏み越えて、古池に飛び込む蛙の発した「水音」を詠んだこの句は、和歌に対する一種のパロディであり、笑える句として解釈すべきなのである、と長島氏は述べる。さらに、「古池や蛙飛ンだる水のおと」という宙を飛ぶ蛙の姿を強調した当初の表現から一歩引いて、姿でなく音を詠んだ点、清流（＝自然）でも田んぼ（＝人工物）でもなく、その中間に位置する「古池」

（＝人工物から自然に還りつつあるもの）を選択した点を指摘し、諧謔のみではない芭蕉の作風の要諦を明らかにした。

また、蕪村の句「蟬啼や僧正坊のゆあみ時」における「僧正坊」は天狗の名であるとして、天狗の絵にこの句を添えた蕪村自身の自画賛によってその解釈を裏付け、一茶の句「雀の子そこのけそこのけ御馬が通る」について、浮世絵によって「そこのけそこのけ」と囃しながら竹馬遊びをする子供の姿を詠んだ句であると読み解いて、絵画資料が作品解釈の決定的な手がかりとなり得ることを示してくれた。

長島氏は上田秋成の研究者として『秋成研究』のご著書があり、秋成をはじめ建部綾足、与謝蕪村らの江戸時代中期の文人の文学を、伝記・作品論・思想論など多方面から検証・考察されている。そうした研究を長年積み重ねてきた学識豊かな長島氏が、さらに徹底した調査と思考によって従来の読みを軽やかに覆していく過程を見せてくれたこの講演会は、文学研究を志す者への叱咤激励であったといえよう。

講師紹介

長島弘明（ながしま ひろあき）

1954年生まれ。1980年、東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。実践女子大学専任講師、名古屋大学助教授、東京大学助教授を経て、1999年、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2019年、東京大学を定年退職し、現在、二松学舎大学特別招聘教授。専門は江戸時代中期の文学。著書・編著書に、『雨月物語の世界』（ちくま学芸文庫）、『秋成研究』（東京大学出版会）、『上田秋成の文学』（放送大学教育振興会）、『建部綾足全集』（国書刊行会）、『上田秋成全集』（中央公論社）、『本居宣長の世界』（森話社）、『名歌名句大事典』（明治書院）、『雨月物語』（岩波文庫）、『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』（文学通信）等。



（国文学科 教授 加藤 敦子）



2019年度比較文化学科主催上映会

上映会&トークショー

開催：2019年6月3日(月)

講演者：深田晃司氏

6月3日に、映画監督の深田晃司氏を招いて映画『歓待』を上映し、深田監督、志村、齋藤みどり先生の鼎談を行った。深田晃司氏は、2013年の『ほとりの朔子』でナント三大陸映画祭グランプリと若い審査員賞をダブル受賞、2015年の『さようなら』ではマドリード国際映画祭のディアス・デ・シネ最優秀作品賞を受賞、2016年、浅野忠信主演の『淵に立つ』が第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査員賞を受賞するなど、現在の日本映画界をけん引する若手映画監督の一人である。

本会で上映された『歓待』は、第23回東京国際映画祭・日本映画「ある視点」部門を受賞した2010年公開の作品である。物語は、東京下町の一角で印刷屋を営みながら平穏な日常を送っていた小林家に、流れ者の男・加川が突然訪れ、そのまま居座ってしまうというもの。深田監督は、在日韓国人に対するヘイトスピーチを目の当たりにしたショックを機に、本作を着想することになったという。現在の外国人に関連する人権問題は、ヘイトスピーチに加え、外国人労働者受け入れ問題などもあげられるが、その一方で政府は、訪日外国人観光客の誘致に積極的であり、2018年の訪日外国人数は、前年比8.7%増の3,119万2千人で、日本政府観光局が統計を取り始めた1964年以降、最多となった。

映画『歓待』は、外国人との共生と異文化理解という課題を考えるための題材を提供しながら、それらを社会問題として深刻に捉えるのではなく、ブラックコ

メディとして描いている点で格好のテキストである。題名の「歓待」という言葉は、ラテン語の二つの派生的な意味から出発している。つまり、客ないしは敵として迎え入れられる異邦人 (hostilité) という語は、歓待 (hospitalité) と敵意 (hostilité) という二つの対照的な意味からなり、それは敵意の歓待 (hostipitalité) であるという。深田監督によると、フランスの哲学者ジャック・デリダの『歓待について』のなかの「歓待」の上述した解釈と、「絶対的ないし無条件の歓待は、[その歓待する者に対して]名前さえも尋ねてもいけません」という一文にインスピレーションを受け、映画『歓待』の物語の骨子ができあがったという。映画の終盤で、流れ者の妻・アナベルが謎の歌を唄うが、それはペルシャの詩人オマル・ハイヤームの詩『ルバイヤート』の一部で、アナベルはそれを5つの言葉を混ぜて歌っている。日本語や英語といった理解可能な言語ではなく、あえて5つの言語を組みあわせることで、他者との共生を楽天的に歌ったこの歌詞は以下の

通りである。

月の光に夜は衣の裾をからげた
酒をのむにまさる楽しいときがあろうか
たのしもう！ 何をくよくよ？ いつの
日か月の光は
墓場の石を1つずつ照らすだろうさ

明日の日が誰にいったい保証できよう？
哀れな胸を今この時こそ楽しくしよう
月の君よ、さあ君の下で酒をのもう
われらは行くし、月は限りなくめぐって
来よう！

映画上映の後に、ジャック・デリダの『歓待』と、オマル・ハイヤームの詩『ルバイヤート』の一部をパワーポイントで紹介しながら鼎談したため、より深い知見を参加者に提供することが可能となり、深田監督に対する質疑応答も活発に行われ、参加人数は150名を数える盛会となった。

(比較文化学科 准教授 志村 三代子)

講師紹介



深田晃司 (ふかだ こうじ)

1980年生まれ。映画監督。2010年『歓待』で東京国際映画祭「ある視点」部門作品賞受賞。2013年『ほとりの朔子』でナント三大陸映画祭グランプリと若い審査員賞をダブル受賞。2015年『さようなら』でマドリード国際映画祭にてディアス・デ・シネ最優秀作品賞受賞。2016年、『淵に立つ』(浅野忠信主演)が第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査員賞を受賞。2018年、『海を駆ける』、同年フランス文化省 芸術文化勲章シュバリエ(騎士)授与。今夏『よこがお』が公開予定。



昨年度の就職状況を振り返って

副学長
(兼キャリア支援センター長) 新保 祐司

本学の平成30年度就職状況(5月1日現在)を振り返ってみると、就職率は、95.8%で、昨年度の98.7%よりも2.9ポイントの減となりました。一方、文部科学省と厚生労働省による平成30年度就職状況調査(国公私立大学から62校を抽出、こちらは4月1日時点)をみると、今春卒業した大学生の就職率は、97.6%となり、過去最高だった前年同期と比べて、0.4ポイント微減しました。平成9年の統計開始以来29年3月卒と並んで2番目に高く、高水準を維持しました。厚生労働省若年者雇用支援の担当者は「企業の採用意欲は引き続き高い。微減の要因としては、売り手市場の中で、一部の学生が第1希望の業界、企業に再チャレンジしようとしたのではないかと説明しています。文系・理系別では、文系が97.8%、理系が98.4%となり理

系の就職率が文系を上回っています。文系の本学の数字は、平均よりも2.0ポイント低いものとなっています。

本学では、783名の卒業生(前期卒業生を含む)を送り出しました。就職希望者は、683名でそのうち654名の就職が決まりました。就職率は、前述したように、95.8%でした。平成26年度が94.9%、平成27年度が95.9%、平成28年度が96.9%、平成29年度が98.7%、平成30年度が95.8%となっています。率は、減少していますが、これは、就職希望者が昨年の609名から683名に増加したためで、就職決定者の数字は、601名から654名に53名増えています。高水準は維持していると言えます。

就職先の内訳をみると、教員(臨時採用を含む)は、公立学校と私立学校を合わせて、190名となり、昨年度の178名

より12名増加しました。小学校が137名、小中共通が1名、中学校が20名、中高共通が2名、高等学校が15名、特別支援学校が5名、私立学校が10名となっています。公立学校では、北海道から沖縄まで、全国の多くの都道府県、市で採用されています。山梨県の38名、東京都の14名、静岡県・市の10名、千葉県・市の8名といったところが注目されます。

公務員は、79名と昨年の84名から5名減りました。地方公務員が74名、国家公務員が5名となっています。このところ、80名前後で推移しています。

民間企業就職者は、昨年度の339名から385名と増加しました。内訳は、サービス業が150名、卸小売業が74名、通信業が56名、製造業が44名、金融保険業が25名、運輸・郵便業が17名とな

平成31年3月卒業生 就職先一覧

初等教育学科

【企業】

- アシックスジャパン株式会社
- ヴェスト株式会社
- ウエルシア薬局株式会社
- 学校法人共愛学園
- 株式会社アルティア
- 株式会社エーシーコンサレント
- 株式会社エスエスワイ
- 株式会社ストライプインターナショナル
- 株式会社タネット
- 株式会社ナニワ
- 株式会社ハソナキャリア
- 株式会社ベイシックス
- 株式会社ベネッセスタイルケア
- 株式会社伊予銀行
- 株式会社山梨中央銀行
- 株式会社小泉
- 株式会社西松屋チェーン
- 株式会社創英コーポレーション
- 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
- 社会福祉法人 明徳会 児童養護施設 今良学舎
- 東京エレクトロニクステクノロジーソリューションズ株式会社
- 東日本電信電話株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 日本年金機構
- ハッポホースケア牧場
- 野村不動産パートナーズ株式会社
- 野村證券株式会社
- 有限会社明日香出版社

【教員(公立)】

- 北海道教育委員会
- 岩手県教育委員会
- 宮城県教育委員会
- 山形県教育委員会
- 福島県教育委員会
- 茨城県教育委員会
- 栃木県教育委員会
- 群馬県教育委員会
- 埼玉県教育委員会
- 埼玉県教育委員会
- 千葉県教育委員会
- 東京都教育委員会
- 神奈川県教育委員会
- 相模原市教育委員会
- 横浜市教育委員会
- 新潟市教育委員会
- 富山県教育委員会
- 石川県教育委員会
- 福井県教育委員会
- 山梨県教育委員会
- 長野県教育委員会
- 静岡県教育委員会
- 静岡県教育委員会
- 浜松市教育委員会

【企業】

- 愛知県教育委員会
- 三重県教育委員会
- 京都府教育委員会
- 大阪府教育委員会
- 兵庫県教育委員会
- 和歌山県教育委員会
- 岡山県教育委員会
- 広島県教育委員会
- 山口県教育委員会
- 徳島県教育委員会
- 香川県教育委員会
- 愛媛県教育委員会
- 高知県教育委員会
- 北九州市教育委員会
- 福岡県教育委員会
- 長崎県教育委員会
- 沖縄県教育委員会
- 【教員(私立)】
- 公益財団法人海外女子教育振興財団(海外日本人学校・学校採用教員雇用支援)
- 星野学園小学校
- 星校グループ
- 【公務員】
- 海上自衛隊一般幹部候補生
- 静岡県東
- 愛媛県庁
- 特別区(東京23区役所・組合)
- 横浜市役所
- 敦賀市役所
- 山梨県富士山科学研究所
- 長泉町役場

【公務員】

- 海上自衛隊一般幹部候補生
- 静岡県東
- 愛媛県庁
- 特別区(東京23区役所・組合)
- 横浜市役所
- 敦賀市役所
- 山梨県富士山科学研究所
- 長泉町役場

国文学科

【企業】

- AHCグループ株式会社
- NECネットワークソリューションズ株式会社
- TBCグループ株式会社(エスディックTBC)
- オデッセイヒューマンシステム株式会社
- 株式会社創国民藝
- カメイ株式会社
- カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
- セイノスパーエクスプレス株式会社
- つばきエンタテイメントグループ
- トヨタカード富士山株式会社
- ハッピーテラス株式会社
- ユニバーサルコンピュータ株式会社
- リゾートトラスト株式会社
- 株式会社 ホームロジスティクス
- 株式会社 栗林製作所
- 株式会社 成美学園
- 株式会社ABC
- 株式会社BFT
- 株式会社D3L
- 株式会社LAVA International
- 株式会社PEO

- 株式会社TTM
- 株式会社アル・アソシエイツ
- 株式会社アイコトリョウ
- 株式会社アダストリア
- 株式会社アルプスツール
- 株式会社いなぎや
- 株式会社エーアイテック
- 株式会社エルロイ
- 株式会社オデッセイ
- 株式会社カチタス
- 株式会社グロウ
- 株式会社ケーズホールディングス
- 株式会社コンピュータマインド
- 株式会社サット
- 株式会社ゾールコミュニケーションズ
- 株式会社システムズワン
- 株式会社ステージ
- 株式会社ストライプインターナショナル
- 株式会社セラク
- 株式会社セントメディア
- 株式会社パンリベア
- 株式会社ビームス
- 株式会社フィットハウス
- 株式会社プラス
- 株式会社ベネッセスタイルケア
- 株式会社ホテル八千代
- 株式会社マキキリー
- 株式会社マルハン
- 株式会社メガトップ
- 株式会社メック
- 株式会社やなぎざ
- 株式会社ゆうちょ銀行
- 株式会社レンタルのニッケ
- 株式会社一休さんのはなおか
- 株式会社希学園
- 株式会社黒川クリーニング社
- 株式会社山梨日日新聞社
- 株式会社成学社
- 株式会社西鉄ホテルズ
- 株式会社東京個別指導学院
- 株式会社道神會
- 株式会社読売情報開発
- 株式会社二葉屋
- 株式会社日本セルバン
- 株式会社日本人試センター
- 協栄産業株式会社
- 古本買取通販ドットコム株式会社
- 国際自動車株式会社
- 社会福祉法人クリストロア会
- 聖ヨゼフホーム
- 上野村森林組合
- 信州うなぎ農業協同組合
- 千曲商工会議所
- 全国共済農業協同組合連合会
- 岐阜県東
- 第一生命保険株式会社 静岡支社
- 中央静岡ヤマト販売株式会社
- 都留文科大学
- 東芝メモリ株式会社
- 日本郵便株式会社
- 富士新幸株式会社
- 有限会社メイール

- 有限会社中山農場
- 【教員(公立)】
- 北海道教育委員会
- 青森県教育委員会
- 千葉県教育委員会
- 東京都教育委員会
- 神奈川県教育委員会
- 富山県教育委員会
- 石川県教育委員会
- 山梨県教育委員会
- 岐阜県教育委員会
- 浜松市教育委員会
- 愛知県教育委員会
- 山口県教育委員会
- 愛媛県教育委員会
- 高知県教育委員会
- 【教員(私立)】
- 学校法人角川ワグ学園 N高等学校
- 西安外国語大学
- 学校法人白百合学園 仙台白百合学園中学・高等学校
- 狭山ヶ丘高等学校
- 学校付属中学校
- 【公務員】
- 北海道庁
- 山梨県庁
- 仙台市役所
- 横浜市役所
- むつ市役所
- 大阪市役所
- 佐渡市役所
- 小菅村役場
- 富士吉田市役所
- 富士河口湖町役場
- 大町市教育委員会
- 中軽井沢図書館
- 伊豆の国市立図書館
- 津市役所
- 豊岡市役所
- 精神保健福祉センター
- 山梨県警察本部

英文学科

- 【企業】
- 日本空輸株式会社
- Supriev株式会社
- アイグッツ株式会社
- アイドール株式会社
- アパホテル株式会社
- イオンリテール株式会社
- イクス株式会社
- イッティジャパン株式会社
- イリオン株式会社
- オリンボス債権回収株式会社
- シェルトン・グラランデ・トーキョーベイ・ホテル
- サニーライブホールディングス株式会社
- ソフィアビューティカウンスリング株式会社
- ソフトバンク株式会社
- タカラスタンダード株式会社
- ティーン・ティーンコーポレーション株式会社

- ニッポンレンタカー北関東株式会社
- ベストファーム㈱
- ホーユ株式会社
- マックスパリュウ東海株式会社
- マルマン株式会社
- ゆめたか接骨院
- リゾートトラスト株式会社
- ロクシンジャパン株式会社
- ワールドエンタープライズ株式会社
- 医療法人社団蘭科タナカ
- ホワイトセックス
- 遠州鉄道株式会社
- 株式会社ANAエアサービス松山
- 株式会社DHC
- 株式会社JDOM
- 株式会社KNT-CTグローバルホテル
- 株式会社アイン企画
- 株式会社アドウェイズ
- 株式会社あたらす二十一
- 株式会社イーオン
- 株式会社ヴァリアント
- 株式会社ウィルウェル
- 株式会社エス・エム・エスキャリア
- 株式会社キングプリンターズ
- 株式会社クロスフォー
- 株式会社グループテレビ高山
- 株式会社コスギ
- 株式会社サイエイ・インターナショナル
- 株式会社シンコーハイウェイサービス
- 株式会社スリーイーホールディングス
- 株式会社セブン
- 株式会社タカサク
- 株式会社ティラド
- 株式会社テクノモバイル
- 株式会社トライグループ(家庭教師のトライ)
- 株式会社ナニワ
- 株式会社ネットアスタ
- 株式会社ノビア
- 精神保健福祉センター
- 株式会社ハードオフファミリー
- 株式会社ハインツジャパン
- 株式会社パロホルディングス
- 株式会社プロウエル
- 株式会社ホテル小田急サザンタワー
- 株式会社ホンダカース神奈川西
- 株式会社モビリティランド
- 株式会社ユナイテッドアローズ
- 株式会社ライズフォー
- 株式会社星野リゾート・マネジメント
- 株式会社東急リゾートサービス
- 株式会社日本システムデザイン
- 株式会社八二銀行
- 創製造園
- 京都ユウパルホテル
- 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 甲斐ゼミナール
- 埼玉県農業共済組合
- 社会福祉法人 にんじんの会
- 杉本電機産業株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社
- 大石機械株式会社

ています。

さらに、大学院などへの進学者は、28名となっており、卒業生のうち、就職決定者と大学院等への進学者を合わせると、7年連続で8割を超え、9割に近づいています。以上、昨年度就職・進学等の就職等の状況について簡単にまとめました。

このように、全体的には好景気の中での好調な就職率ではありますが、キャリア支援センターでは、教員、公務員、企業のそれぞれの分野で、今年度も様々な支援事業を計画しています。自分の夢の実現を目指して積極的に参加してください。

平成30年度の就職関係データ

	30年度
卒業生数 A	783
就職希望者数 B	683
就職決定者数 C	654
大学院等進学者数 D	28
就職率 C/B × 100	95.8
進路決定率 (C + D) / A × 100	87.1
内訳	
企業	385
教員	190
公務員	79

平成31年3月卒業生（前期卒を含む）の就職先別人数

A	小学校	137
	中学校	21
	小中共通 (1名は上位免許含まれている)	
	高等学校	17
	中高共通 (2名は上位免許含まれている)	
B	特別支援学校	5
	私立学校	10
	教員合計	190
C	公務員	79
	国家公務員	5
	地方公務員	74
公務員合計	79	
D	農業・鉱業	2
	建設業	10
	製造業	44
	電気・ガス熱供給業	1
	運輸・郵便業	17
	卸小売業	74
	金融保険業	25
	不動産業	6
	サービス業	150
	情報処理	56
民間合計	385	

D	北海道・札幌市	3	岐阜県	3
	青森県	2	静岡県	8
	岩手県	1	静岡市	2
	宮城県・仙台市	2	浜松市	5
	山形県	2	愛知県	7
	福島県	4	三重県	1
	茨城県	4	京都府	1
	栃木県	4	大阪市	2
	群馬県	5	兵庫県	1
	埼玉県	3	和歌山県	2
	さいたま市	2	鳥取県	1
	千葉県・千葉市	8	島根県	2
	東京都	14	岡山県・岡山市	1
	神奈川県	11	広島県・広島市	1
	横浜市	5	山口県	2
	川崎市	1	徳島県	5
	相模原市	2	香川県	1
	新潟県	1	愛媛県	4
	富山県	4	高知県	2
	石川県	3	福岡市	1
	福井県	1	長崎県	2
	山梨県	38	北九州市	1
	長野県	4	沖縄県	1
			合計	180

- 大和自動車交通株式会社
 登神温泉 石苔亭いしだ
 長野医療生活協同組合
 田子の浦埠頭株式会社
 東栄ホームサービス株式会社
 東京ガス山梨株式会社
 東北学院大学
 南九州海洋電機株式会社
 日産車体 株式会社
 日産工業株式会社
 日本銀行
 日本航空株式会社
 日本郵便株式会社
 富士システムズ株式会社
 北海道拓殖バス株式会社
 有限会社アクト・ワン
- 【教員（公立）】**
 青森県教育委員会
 茨城県教育委員会
 栃木県教育委員会
 東京都教育委員会
 川崎市教育委員会
 神奈川県教育委員会
 山梨県教育委員会
 静岡県教育委員会
 浜松市教育委員会
 静岡県教育委員会
 愛知県教育委員会
 大阪市教育委員会
 鳥取県教育委員会
- 【教員（私立）】**
 学校法人明德学園 相洋中学校・高等学校
- 【公務員】**
 山梨県庁
 長野県庁
 特別区（東京23区役所・組合）
 名古屋市役所
 十日町市役所
 市川三郷町役場
 新潟県警察
- 比較化学科**
- 【企業】**
 ANA（日本空輸株式会社）
 CEC新沼情報サービス株式会社
 FUNCREW
 JLT株式会社
 JR東日本ステーションサービス株式会社
 ののめ信用金庫
 スリープログループ株式会社
 チューリッヒ保険会社 長崎オフィス
 ディップ株式会社
 ニュートン・サンザグループ
 ビッグモーターグループ
 フルーツ山梨農業協同組合
 プレインウッズ株式会社
 ほけんの窓口グループ株式会社
 みやぎ生活協同組合
 ニュコロ、ジーユー、リンク・セオリー・ジャパン（ファーストリテイリンググループ）
- 一般財団法人 BOATRACE振興会
 一般財団法人休暇村協会
 学校法人岩崎学園
 学校法人鈴鹿医療科学大学
 岳南有機株式会社
 株式会社 ジュビターテレコム
 株式会社 北洋銀行
 株式会社 FJ ネット
 株式会社 LDOM
 株式会社 Kスカイ
 株式会社 Romantic road
 株式会社 STAR CAREER
 株式会社 UR コミュニティ
 株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
 株式会社 アウトソーシングテクノロジー
 株式会社 アレバ
 株式会社 イノメディアプロ
 株式会社 イスカ
 株式会社 イズミ
 株式会社 エイジック
 株式会社 エブリイホーミイホールディングス
 株式会社 クラハシ
 株式会社 ジールホールディングス
 株式会社 システムクエスト
 株式会社 ジュビターテレコム
 株式会社 ストライプインターナショナル
 株式会社 デューエイチシー
 株式会社 テクノア
 株式会社 トミソー
 株式会社 ニューアート・シーマ
 株式会社 ネットクス
 株式会社 ハートネットワーク
 株式会社 ビッグモーター
 株式会社 ヒミカ
 株式会社 プラステ
 株式会社 プラスステージ
 インターナショナル 山形 B P O ガーデン
 株式会社 ホンダクリオ富士
 株式会社 ゆうちょ銀行
 株式会社 ライフサポート・エガワ
 株式会社 クールホールディングス
 株式会社 コール
 株式会社 賢者屋
 株式会社 HOKUFI ナンシャルグループ
 株式会社 小肥羊ジャパン
 株式会社 兼島クラブクレイン
 株式会社 西松屋チェーン
 株式会社 赤ちゃん本舗
 株式会社 電通デジタル
 株式会社 日本旅行
 株式会社 日立ハイテクマテリアルズ
 株式会社 富山銀行
 株式会社 富士薬品
 株式会社 北陸銀行
 甘楽富岡農業協同組合
 関防商事株式会社（セキョウグループ）
 岩手県生活協同組合連合会
 共同エンジニアリング株式会社
 近畿日本鉄道株式会社
 古本買取通販ドットコム株式会社

- 三井不動産商業マネジメント株式会社
 三井工業株式会社
 山梨県信用農業協同組合連合会
 七福起業株式会社
 住江織物株式会社
 昭利リース株式会社
 前多株式会社
 長野県国民健康保険団体連合会
 長野信用金庫
 東京エアポートレストラン株式会社
 独立行政法人 労働者健康安全機構
- 【公務員】**
 防衛省陸上自衛隊
 防衛省航空自衛隊
 岩手県庁
 桐生市役所
 名古屋市役所
 青森市役所
 小松市役所
 氷見市役所
 府中市役所
 徳津市役所
 千原県警察
 大田市役所
 豊橋市役所
 福井県警察本部

社会学科 現代社会専攻

- ALSOKグループ
 フレンター・関東株式会社
 イオンタウン株式会社
 株式会社 クスリのオキ
 サン情報サービス株式会社
 スルガ銀行株式会社
 タイキン工業株式会社
 つばきエンタテインメントグループ
 ニチエ学園
 ヤマザキマツダ株式会社
 リフォームスタジオ株式会社
 株式会社 日立ハイテクノロジー
 株式会社 EIGHT
 株式会社 SK
 株式会社 アイ・エム・ジェイ
 株式会社 アイエイアイ
 株式会社 アップロード
 株式会社 アンデスフィルム
 株式会社 カチタス
 株式会社 キョウキクチュアズ
 株式会社 クスリのサンロード
 株式会社 クロスフォー
 株式会社 ジャパンコンピュータサービス
 株式会社 ジンズ
 株式会社 スガテック
 株式会社 ストライプインターナショナル
 株式会社 ティーガイア
 株式会社 テクノプロ テクノプロ IT 社
 株式会社 トモローランド
 株式会社 マーキュリー
 株式会社 マッシュ
 株式会社 モンベル

- 株式会社 ローソン
 株式会社 ワンスター
 株式会社 照林社
 株式会社 長野エコーサブライ
 株式会社 日立ハイテクマテリアルズ
 公立大学法人都留文科大学
 桜和設備株式会社
 村岡機械株式会社
 中部自動車販売株式会社
 帝国インキ製造株式会社
 東西株式会社
 日本通運株式会社
 浜松信用金庫
- 【教員】**
 群馬県教育委員会
- 【公務員】**
 静岡労働局
 国立大学法人 山梨大学
 山梨県庁
 国分寺市役所
 沼吹市役所
 甲斐市役所
 静岡市役所
 都留市役所
 鹿屋市役所
 小山市役所
 宮古島市役所
 富士宮市役所
 南アルプス市役所
 御殿場市役所
 那須烏山市役所
 西柱町役場
 静岡県警察本部

環境・コミュニティ創造専攻

- 株式会社 長野パルセイロ・アスレチッククラブ
 社会福祉法人 星谷会
 まいこの牧場
 株式会社 長野エコーサブライ
 出雲商工会議所
 株式会社 ノジマ
 株式会社 フラワーカドヤ
 ニスコム株式会社
 全国農業協同組合連合会
 相互住宅株式会社
 ハビビック株式会社
 JA 共済連静岡
 株式会社 クリエイトエス・ディー
 株式会社 小林製作所
 株式会社 モビリティランド
 株式会社 ベルパーク
 株式会社 サンデー
 有限会社 ヤガコ畜産
 リゾートトラスト株式会社
 株式会社 ファミリーマート
 株式会社 マーキュリー
 株式会社 イマジンプラス
 アド・コマージャ株式会社
 株式会社 古木屋
 株式会社 平山

- 株式会社 日本通信サービス
 豊橋信用金庫
 東日本旅客鉄道株式会社
 株式会社 クロスキャット
 株式会社 山梨新報社
 株式会社 スギヤマ・コーポレーション
 有料老人ホームふれあい家族嵐山
 プルミング中西株式会社
 オルケア株式会社
 東日本旅客鉄道株式会社
 セコム北陸株式会社
 株式会社 長野日報社
 B X ゆりフォーム株式会社
 岳南有機株式会社
 株式会社 アクアプロ・コンストラクション
 株式会社 東京クラウン
 甲府信用金庫
 ニッパ日町農業協同組合
 株式会社 アレバ
 株式会社 インサイト
 株式会社 シーティユーグラフィックス
 シェラトン・グランデ・トーキョー
 ベイ・ホテル
- 【教員（公立）】**
 千葉県教育委員会
 相模原市教育委員会
 山梨県教育委員会
 静岡県教育委員会
 静岡市教育委員会
 徳島県教育委員会
- 【公務員】**
 山梨県庁
 静岡県庁
 兵庫県庁
 徳島県庁
 戸沢村役場
 狭山市役所
 山武市役所
 富土川町役場
 東御市役所
 名張市役所
 警視庁
 静岡県警察本部



教科書だけではなく、 多くの文献を読もう。

F D委員会委員長 平野 耕一

○授業アンケートについて

「授業についての学生アンケート」は、前期末と後期末に学生が質問項目に回答する形式で行われています。この稿では、2018年度の「授業についての学生アンケート」の結果を総括します。

1. 授業アンケート実施率

表1は、授業アンケートの教員の実施率を示したものです。授業アンケートは、全ての授業担当者（専任・特任教員、非常勤講師）に必ず1科目以上の実施をお願いします。FD委員会からの働きかけもあり、2018年度は非常勤講師の実施率が80%を超えましたが、まだ全体として100%には達していません。今後も100%を目指していきたいと思っています。

表1 授業アンケート実施率

年 度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
専任教員	75.0	96.1	97.8	94.6	96.0	96.4
非常勤講師	58.5	67.7	76.0	68.8	76.0	84.2

2. 授業を履修した理由

「この授業を履修した主な理由」の回答結果が表2です。「授業の分野に興味があった」、「将来役立つと思った」のような積極的な理由も多いのですが、「必修科目だった」、「この時間が空いていた」という消極的な理由も目立ちます。是非、様々な学問に触れた上で、自分が本気で打ち込めるものを見つけて欲しいと思います。授業で指定された教科書に加えて、自ら複数の文献を探して読み進めていく姿勢が必要です。また、同一科目でも異なる著者の教科書を読み比べることによって理解が深まります。

3. 経年変化

表3は、最近4年間の全体平均点です。項目4の「予習・復習をし

ましたか」について、毎年、他の項目と比べて点数が低いです。但し、(対象の集団が変わっていくので正確な統計ではないのですが)4年間で点数が少しずつ上がってきています。内容を深く理解し自分のものにするには、授業の時間だけでなく、予習・復習として自分で書きながら考える時間が不可欠です。特に予習

表2 この授業を履修した
主な理由（2018年度）

(複数回答可)

設問 理由	前期 (%)	後期 (%)
1. 必修科目だった	45.7	47.5
2. シラバスを読んで興味を持った	13.3	12.5
3. 授業の分野に興味があった	16.6	15.7
4. よい授業と聞いていた	3.3	3.8
5. 将来役立つと思った	10.5	10.0
6. 単位を取りやすいと思った	1.8	1.9
7. この時間が空いていた	7.3	7.3
8. 無効回答	1.6	1.4

表3 経年変化（全体平均点）

項	設問文	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
B	あなた自身の授業への取り組みについて	セクション平均点							
		3.84	3.84	3.90	3.86	3.93	3.91	3.96	3.96
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で教えてください。	4.35	4.19	4.38	4.20	4.36	4.20	4.36	4.19
2	事前にシラバスを読み、授業の目的、目標、内容を理解して臨みましたか。	3.79	3.84	3.84	3.83	3.89	3.89	3.92	3.96
3	授業に出席したときは、授業に集中し、熱心に取り組みましたか。	4.04	4.05	4.10	4.09	4.13	4.11	4.17	4.17
4	この授業について、予習あるいは復習をしましたか。十分に行ったを5、全く行わなかったを1とし、5~1の範囲で教えてください。	3.15	3.20	3.21	3.23	3.26	3.35	3.33	3.40
5	授業の内容をよく理解できましたか。	3.88	3.93	3.96	3.97	3.99	4.01	4.04	4.06
C	授業の進め方について	セクション平均点							
		4.08	4.18	4.19	4.21	4.20	4.22	4.26	4.27
8	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.09	4.18	4.19	4.21	4.21	4.23	4.26	4.28
9	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.10	4.20	4.21	4.22	4.22	4.24	4.28	4.29
10	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.15	4.23	4.26	4.26	4.26	4.28	4.32	4.32
11	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	3.99	4.10	4.10	4.13	4.12	4.15	4.18	4.20
D	授業環境について	セクション平均点							
		4.15	4.18	4.21	4.20	4.23	4.24	4.31	4.31
E	授業内容について	セクション平均点							
		3.95	4.03	4.03	4.05	4.04	4.06	4.09	4.10
13	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.14	4.22	4.24	4.24	4.25	4.26	4.30	4.31
14	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.14	4.23	4.22	4.26	4.24	4.27	4.29	4.30
15	授業の内容・構成は、シラバスで書かれた目標に沿っていましたか。	4.10	4.18	4.20	4.20	4.22	4.24	4.26	4.28
16	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。難しすぎたを5、易しすぎたを1とし、5~1の範囲で教えてください。	3.43	3.48	3.46	3.49	3.46	3.48	3.50	3.50
F	授業成果について	セクション平均点							
		4.18	4.26	4.25	4.28	4.26	4.30	4.31	4.33
17	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.17	4.24	4.24	4.28	4.26	4.29	4.31	4.32
18	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.16	4.24	4.22	4.27	4.24	4.28	4.29	4.32
19	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いますか。	4.20	4.28	4.28	4.30	4.28	4.31	4.34	4.35

に重点を置き、授業前に疑問点を整理しておいて、授業中に質問して解決すると効率的です。

4. 授業形態比較

表4は、「講義」、「外国語」、「実習・実験・実技」、「演習」の授業形態別の比較です。科目の特性もあるので一概に比較できませんが、「講義」、「外国語」よりも、「実習・実験・実技」、「演習」の方が点数が高い傾向

があるようです。

5. 学年比較

表5は、学年別の比較です。特に1年生は、大学の講義と高校の授業との違いに戸惑った人もおられるかもしれません。授業についていけないなど困った時には、その科目の教員に“勉強の仕方”を聞いてみることをお勧めします。

○授業改善に向けて

今回の授業アンケートにて、私も担当している授業について貴重な意見を頂きました。自分では気付かなかった指摘もあり、良いヒントになりました。この声を基にして、授業の改善に向けて努力していきたいと思えます。

表4 授業形態比較 (2018年度)

項	設問文	講義		外国語		実習・実験・実技		演習			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
B	あなた自身の授業への取り組みについて	セクション平均点		3.87	3.87	4.15	4.10	4.22	4.12	4.12	4.09
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.29	4.15	4.49	4.25	4.61	4.31	4.47	4.25		
2	事前にシラバスを読み、授業の目的、目標、内容を理解して臨みましたか。	3.88	3.92	3.94	4.00	4.09	4.09	3.99	4.05		
3	授業に出席したときは、授業に集中し、熱心に取り組みましたか。	4.05	4.07	4.34	4.28	4.62	4.48	4.39	4.35		
4	この授業について、予習あるいは復習をしましたか。十分に行ったを5、全く行わなかったを1とし、5~1の範囲で答えてください。	3.17	3.26	3.85	3.85	3.34	3.40	3.53	3.58		
5	授業の内容をよく理解できましたか。	3.95	3.97	4.16	4.14	4.44	4.33	4.22	4.24		
C	業の進め方について	セクション平均点		4.22	4.22	4.32	4.32	4.45	4.45	4.33	4.35
8	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.22	4.24	4.28	4.29	4.52	4.50	4.34	4.34		
9	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.23	4.24	4.36	4.34	4.55	4.49	4.35	4.37		
10	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.30	4.29	4.39	4.39	4.26	4.37	4.36	4.38		
11	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	4.12	4.13	4.27	4.25	4.47	4.44	4.26	4.31		
D	授業環境について	セクション平均点		4.21	4.23	4.51	4.46	4.55	4.43	4.46	4.47
12	クラスの学生数、教室の設備、備品などは適切な状態でしたか。	4.05	4.06	4.13	4.12	4.29	4.26	4.15	4.15		
E	授業内容について	セクション平均点		4.26	4.26	4.38	4.36	4.53	4.52	4.37	4.36
13	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.25	4.27	4.30	4.29	4.50	4.47	4.38	4.39		
14	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.22	4.24	4.33	4.31	4.47	4.43	4.31	4.36		
15	授業の内容・構成は、シラバスで書かれた目標に沿っていましたか。	3.48	3.48	3.51	3.54	3.65	3.62	3.54	3.49		
16	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。難しすぎたを5、易しすぎたを1とし、5~1の範囲で答えてください。	4.28	4.29	4.31	4.31	4.48	4.50	4.44	4.44		
F	授業成果について	セクション平均点		4.27	4.29	4.30	4.31	4.48	4.50	4.46	4.44
17	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.27	4.29	4.26	4.29	4.42	4.46	4.41	4.42		
18	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.29	4.31	4.35	4.34	4.55	4.55	4.47	4.45		
19	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思えますか。										

表5 学年比較 (2018年度)

項	設問文	1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
B	あなた自身の授業への取り組みについて	セクション平均点		4.05	4.03	3.95	3.93	3.90	3.88	3.77	3.89
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.66	4.39	4.30	4.14	4.19	4.04	3.75	3.86		
2	事前にシラバスを読み、授業の目的、目標、内容を理解して臨みましたか。	3.88	3.96	3.95	3.97	3.93	3.94	3.84	3.93		
3	授業に出席したときは、授業に集中し、熱心に取り組みましたか。	4.27	4.24	4.13	4.12	4.10	4.11	4.05	4.18		
4	この授業について、予習あるいは復習をしましたか。十分に行ったを5、全く行わなかったを1とし、5~1の範囲で答えてください。	3.35	3.48	3.36	3.38	3.29	3.29	3.20	3.38		
5	授業の内容をよく理解できましたか。	4.10	4.10	4.01	4.03	4.00	4.02	4.01	4.10		
C	授業の進め方について	セクション平均点		4.28	4.29	4.23	4.24	4.23	4.23	4.32	4.38
8	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.27	4.30	4.24	4.25	4.25	4.24	4.32	4.37		
9	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.31	4.32	4.24	4.26	4.25	4.24	4.35	4.40		
10	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.35	4.34	4.29	4.30	4.29	4.30	4.37	4.42		
11	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	4.20	4.22	4.14	4.16	4.16	4.16	4.23	4.31		
D	授業環境について	セクション平均点		4.44	4.41	4.28	4.27	4.16	4.22	4.20	4.29
12	クラスの学生数、教室の設備、備品などは適切な状態でしたか。	4.11	4.12	4.07	4.07	4.07	4.07	4.13	4.18		
E	授業内容について	セクション平均点		4.35	4.34	4.27	4.28	4.26	4.26	4.33	4.39
13	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.30	4.31	4.25	4.27	4.28	4.29	4.36	4.44		
14	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.27	4.28	4.25	4.27	4.24	4.27	4.33	4.37		
15	授業の内容・構成は、シラバスで書かれた目標に沿っていましたか。	3.51	3.55	3.50	3.47	3.49	3.47	3.48	3.50		
16	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。難しすぎたを5、易しすぎたを1とし、5~1の範囲で答えてください。	4.34	4.33	4.27	4.31	4.31	4.32	4.37	4.45		
F	授業成果について	セクション平均点		4.34	4.32	4.27	4.30	4.30	4.32	4.36	4.43
17	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.30	4.31	4.26	4.30	4.30	4.31	4.36	4.45		
18	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.38	4.36	4.28	4.32	4.32	4.33	4.39	4.46		
19	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思えますか。										



平成30年度
都留文科大学卒業式



卒業生のことば

平成31年3月22日（金）、午前11時より都の杜うぐいすホールにて、平成30年度都留文科大学卒業式を開催いたしました。当日は、3月のうらかな日差しが心地よく感じられるなか772名（学部、専攻科、大学院を含む）がそれぞれの道へ、旅立ちました。

福田学長は祝辞で、「自分を振り返りながら、都留の地で助けて、学び成長したことを誇りに思って、前へ前へと進んでいってください」と述べられました。

卒業生代表の大澤郁美さん（英

文学科）が、「人生の岐路に立たされた時、支えになるのは、自分自身が学び、築き上げてきたものです。失敗を恐れず取り組むチャレンジ精神、自分の力で問題を解決する姿勢、そして、仲間と助け合いながら成長すること。迷い立ち止まることもあっても、この4年間で身につけた全てが、今後の生活でも大きな糧になると私は確信しています。」と語られました。最後に合唱団と吹奏楽部による学生歌「花のかげ」が演奏されるなか式は滞りなく終了いたしました。

当日の様子



平成30年度
卒業生・
修了者数

文学部	初等教育学科	196	専攻科 大学院	比較文化学科	123
	国文学科	142		文学専攻	2
	英文学科	139		臨床教育実践学専攻	1
	社会学科			国文学専攻	4
	現代社会専攻	88		英語英米文学専攻	1
	環境・コミュニティ創造専攻	73		社会学地域社会研究専攻	3

平成31年度
入学試験状況

平成31年度 推薦入学試験状況			
学科名		受験者数	合格者数
文学部	国文学科	143	69
	英文学科	72	40
	比較文化学科	75	47
	比較文化学科（センター利用）	43	27
	国際教育学科	47	22
	国際バカロレア（IB）	0	0
教養学部	学校教育学科	181	95
	学校教育学科（センター利用）	52	25
	地域社会学科	109	62
	地域社会専攻（センター利用）	37	15
	地域社会学科（活動評価型推薦）	11	8

平成31年度 編入試験状況			
学科名		受験者数	合格者数
文学部	初等教育学科	4	0
	国文学科	16	6
	英文学科	11	4
	社会 現代社会専攻	7	1
	学科 環境・コミュニティ創造専攻	0	0
	比較文化学科	4	3

平成31年度 前期日程入学試験状況			
学科名		受験者数	合格者数
文学部	国文学科	85	56
	英文学科	326	74
	比較文化学科	71	67
	国際教育学科	67	44
教養学部	学校教育学科	55	40
	地域社会学科	122	80

平成31年度 中期日程入学試験状況			
学科名		受験者数	合格者数
文学部	国文学科	667	75
	英文学科	809	90
	比較文化学科	282	73
	国際教育学科	109	11
教養学部	学校教育学科	498	91
	地域社会学科	511	93

平成30年度 学生表彰制度による表彰

課外活動において特に顕著な成績を挙げたと認められる学生や団体、また、社会活動において社会的に高い評価を受けたと認められる学生や団体に対する学生表彰制度により、10名2団体が表彰されました。



表彰者 (団体・個人)	推薦理由 (概要)
合唱団	第71回全日本合唱コンクール大学一般職場部門・大学ユースの部において10年連続となる金賞受賞合わせて日本放送協会賞を受賞。また10年連続金賞の功績に対して特別賞を受賞。
女子バレーボール部	山梨県社会人6人制バレーボール選手権優勝 クラブカップ山梨県予選優勝 山梨県大学春季リーグ・秋季リーグ優勝 関東甲信越大学体育大会第3位 ほか
女子バレーボール部 船田 純香	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、春季リーグ戦でスパイク賞を受賞
女子バレーボール部 井相田 早紀	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、秋季リーグ戦でスパイク賞を受賞
女子バレーボール部 山田 佑真	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、春季リーグ戦で最優秀選手賞を受賞
女子バレーボール部 北村 風音	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、秋季リーグ戦で最優秀選手賞を受賞
女子バレーボール部 佐々木 奏織	山梨県大学バレーボールリーグ戦春季及び秋季大会においてチーム優勝し、春季リーグ戦でリベロ賞を受賞
女子バレーボール部 刀川 真由希	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、秋季リーグ戦でリベロ賞を受賞
女子バレーボール部 菱田 捷月	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、春季リーグ戦でセッター賞を受賞
女子バレーボール部 弓田 真央	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、秋季リーグ戦でセッター賞を受賞
女子バレーボール部 高橋 伶奈	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、春季リーグ戦でサブ賞を受賞
女子バレーボール部 東城 友香	山梨県大学バレーボールリーグ戦、春季及び秋季大会においてチーム優勝し、春季リーグ戦でブロック賞を受賞



英語教育セミナー

運営にあたったゼミ生と参加者で講師の先生を囲んで

新学習指導要領を踏まえた英語授業のあり方

青森県立田名部高等学校教諭（平成30年度英文学科4年） 舛屋奏美

平成31年2月2日（土）に、英文学科英語教育研究ゼミ（担当三浦幸子教授）主催で、「英語教育セミナー」を開催しました。「新学習指導要領をふまえた英語授業のあり方」について本多敏幸先生（千代田区立九段中等教育学校指導教諭）にお話しいただきました。まずは、新学習指導要領における重要な変更点と学び観点を確認した後で、生徒が主体的に取り組める具体的な授業の展開方法や、様々な言語活動の目的や留意点について学びました。新学習指導要領では「話すこと」が「発表」と「やり取り」に分けられ、4能5領域を統合的に指導することが求められています。本多先生は、参加者を生徒役にして実演を行って教師生徒間の「やり取り」を、また、ペアワークによる生徒間の「やり取り」の具体例を示してくださいました。生徒たちが言語を使用する力をつけるためには言語活動を通じた基礎的な訓練を土台にして、自ら選択して使用する発展的な活動が必要です。単に活動を行うだけでなく、生徒がどのような力をつけるために、いつ、どの程度、どのように実施すればよいかを授業動画や実演などの具体例を通して考えることができました。



本多先生の講演

同窓生支援による 模擬面接試験体験会



5月11日（土）、教員を志望する学生を対象に、教員採用試験2次試験の対策として、全国各地から28名の同窓生を講師として招き、『模擬面接試験体験会』を開催しました。体験会には104名の学生が参加し、同窓生から様々なご指導をいただきました。

第1部は、自主的に志願した代表学生による集団面接、集団討論、模擬授業を公開で行い、面接官役の講師から、きめ細かなご指導をいただきました。本試験を想定した内容を実践することで、弱点を見出し、改善することで更に力をつけたことでしょうか。また、見学した多くの学生から「実践内容を客観的に見ることで、自分に不足し

ているところを具体的に知ることができた。」等の感想が寄せられ、今後の取り組みに繋がる良い刺激を受けたようです。

第2部は、受験地ごとに分かれ、各地の現況に応じたアドバイスや集団での面接、討論等の実践指導をしていただきました。

体験会は、学生にとって同窓生の先輩方と繋がる貴重な機会となり、その絆や伝統を強く感じたことと思います。ご協力いただきました同窓会並びに同窓生の皆様には、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。お忙しいところ、誠にありがとうございました。

成績優秀者表彰が行われました



6月25日（火）に、昨年度（平成30年度）、学内において優秀な成績を修めた学生を表彰する「成績優秀者表彰式」が行われました。

対象となったのは、初等教育学科・国文学科・英文学科・社会学科・比較文化学科、国際教育学科、学校教育学科、地域社会学科の2年生から4年生までの各学年で1名ずつ、計17名の成績最優秀者、各学年で4名ずつ、計62名の成績優秀者、合計79名が表彰されました。式典では横内理事長と福田学長からお祝いの言葉を頂き、続いて学長より表彰状が授与されました。

また対象者には、平成26年度より創設された「成績優秀者奨学金」が給付されます。



サークル紹介 ストリートダンスサークル

ヴァンフォーレ甲府 開幕セレモニー



4月14日(日)ヴァンフォーレ甲府、2019 明治安田生命 J2リーグ第9節の水戸ホーリーホック戦が山梨中銀スタジアムで行われました。この日は「コイケスペシャルマッチ・

ホームタウン 都留市サンクスデー」となっており、都留市PRやキッズチャレンジマッチなど、イベントの一環として、ストリートダンスサークルが応援パフォーマンスを行いました。

メイン入場口前の特設ステージの「ヴァンくんステージ」において、パワフルなダンスパフォーマンスを披露し、来場者の皆さんを魅了しました。

写真：提供 杉村 駿太さん

つる子どもまつり

5月19日(日)、都留文科大学を会場として第50回つる子どもまつりが開催されました。



朝方まで降っていた小雨も止み、つる子どもまつりを楽しんでいた市民の皆さんや以前企画に携わっていたOB,OGなど、沢山の方に来場して頂きました。午前9時の開国式から3時50分に閉国式が終了するまでの間、「くに企画」と題し様々な企画が開催されました。

毎回人気の木工のくに、ペットボトルでの自動車づくり、人形劇、富士山

エンタメ忍者隊、ゲーム(数字当て、ボーリング、お宝くじ)などの企画や、和太鼓、神樂の実演なども行われました。お昼には、吹奏楽部による企画が本部棟前の広場で実施され、吹奏楽部の「USA」の曲に合わせて参加者の子供たちと楽しく踊りました。閉国式では、訪れた多くの保護者や子どもたちと記念の写真を撮り、50回という節目のつる子どもまつりを飾りました。

ムササビ観察会を開催



地域交流研究センター共生教育部門では、春のムササビ観察バスツアーを5月25日(土)と5月31日(金)に開催し、延べ35名が参加しました。

当日は地域交流研究センターに集合し、環境ESDプログラム履修者の学生から諸注意を聞いた後、バスで鹿留にある今宮神社へ向かい、ムササビの観察を行ないました。観察終了後はバスで大学に戻り、学生と北垣憲仁地域交流研究センター教授に、ムササビについて解説していただきました。

観察会の模様は、地域交流研究センターのブログで解説しています。

参加者の感想

- ・映像では見たことありますが、実際に見るのは初めてで、しかも3回滑空を見ることができてラッキーでした。地元にもいると思いますので探してみたいと思います。(50代)
- ・さっと飛んでしまうので集中して見ていないとだめだと思った。待つ時間が長かったけど、鳴き声ははっきりきこえたと、飛ぶ姿も見えてよかった。(60代)

- ・とてもきれいに飛んでいる所を見られて感動しました。子供にどうしても見てもらいたかったのが一緒に来られて良かったです。(40代)
- ・ムササビがきれいに見られたので、来てよかった。もしムササビが見られなかったとしても木がおいしげる神社で寝転がってぼーっとできる時間が持ただけでもすてきな時間をすごせたな、と思う。秋もまた来たいです。(20代)

市民公開講座ミニ講座

「十日市場・夏狩地区の湧水さんぽ」



6月8日(土)に、地域交流研究センター自然共生研究部門による市民公開講座「十日市場・夏狩地区の湧水さんぽ」mini講座がセンターの交流スペースで開催されました。これは大学近隣の湧水群を大学教員の解説を聞きながら歩くという企画でしたが、残念ながら前日の雨の影響で「さんぽ」はできませんでした。しかし次の機会での実施に向けて、本学学校教育学科の内山美恵子教授により、湧水とは何か、なぜ富士山頂から30kmも離れた都留市に湧水が多く湧き出ているのか、などについて実験を交えたmini講座を行いました。参加者は9名で、短い時間の講座でしたが皆さんは真剣に聞き入っておられ、質問も多く飛び交いました。

参加者の感想を紹介します。

- ・地元の湧水がどのような形で出ているか、非常にわかりやすかった。又、湧水に限らず、地質を知る事ができた事は有益。(30代一般男性)
- ・湧水さんぽを楽しみにしていたので残念だったが、近辺の地層や地下の様子、湧水のしくみなどのmini講座がとてもわかりやすく、おもしろかった。次回さん

- ぽ計画があればぜひ参加させていただきたい。(50代一般男性)
- ・実際の湧水を見ることができず残念でした。長い年月をかけて湧いてくる湧水のロマン、神秘に感動しました。きれいな水がいつまでも続きますように…。(60代一般男性)

名誉教授の称号授与



新保 祐司 教授

国文学科教授、22年の長きにわたり、本学の教育・研究・学務・社会貢献に尽力されました。在職中は国文学科長、国際交流センター長、キャリア支援センター長、副学長（理事）を歴任され、本学の運営に貢献されました。また、国際教育学科準備室長として、国際教育学科新設に尽力し、平成29年度より2年間国際教育学科長も兼任し新学科を軌道に乗せ学科運営にも貢献されました。



オープンキャンパス情報



オープンキャンパス

2019

8.3(土)・4(日), 10.12(土)・13(日)

AM9:00～PM3:00

◎学科別説明会

学科の特色、学ぶ内容、入学選考方法等

◎卒業後の進路と就職状況説明会

就職対策の取り組み、資格取得、就職の状況

◎学科別特別講義

各学科別講義（本学の専任教員による講義）

◎進学相談会

学科別、個別相談会
（入試対策等について教員、学生が対応します。）

◎留学制度相談会

交換留学制度など支援体制等を説明

◎学生生活相談会

アパートや街の状況等全般についての相談

◎学生によるキャンパスツアー

学生が大学構内をご案内します。

◎学食体験

大学食堂等で昼食を用意しています。

◎体育会、文化会等の活動報告



人事異動

【採用】

青山 郁子 (文学部国際教育学科教授)
佐脇 英志 (教養学部地域社会学科教授)
大野 直樹 (教養学部地域社会学科准教授)
佐々木 南実 (文学部国際教育学科講師)
山本 直紀 (教養学部学校教育学科特任教授)
高田 研 (教養学部地域社会学科特任教授)
村上 憲司 (教職支援センター特任准教授)
谷 萩真樹 (文学部国際教育学科特任講師)

【退職】

新保 祐司 (文学部国際教育学科教授)
添田 慶子 (教養学部学校教育学科教授)
高田 研 (教養学部地域社会学科教授)
黒崎 剛 (文学部社会学科教授)
藤本 恵 (教養学部学校教育学科教授)
玉置 敦彦 (教養学部地域社会学科講師)
大平 栄子 (文学部英文学科特任教授)

【昇任】

加藤 めぐみ (文学部英文学科教授)
上原 明子 (教養学部学校教育学科教授)
平野 耕一 (教養学部学校教育学科教授)
山森 美穂 (教養学部学校教育学科教授)
両角 政彦 (教養学部地域社会学科教授)
田口 麻奈 (文学部国文学科准教授)
堤 英俊 (教養学部学校教育学科准教授)

【転出】

消防長 谷内 治彦
(理事(事務局長(兼)総合企画室長))
福祉保健部福祉課課長 澄川 宏
(学生課課長)
産業建設部産業環境課課長 小宮 文彦
(経営企画課課長)
市民部地域環境課副主幹 山本 香栄
(学生課副主幹)

産業建設部建設課副主幹 関戸 章雄
(総務課副主幹)
市立病院事務局総務企画課副主幹 鈴木 いづみ
(総務課主査)
市民部税務課副主査 井上 和洋
(総務課副主査)
産業建設部産業課主任 横田 祐太郎
(経営企画課主任)
市民部税務課主事 程原 祥子
(総務課主事)

【転入】

理事(事務局長(兼)総合企画室長) 深澤 祥邦
(福祉保健部部長(兼)福祉事務所長)
経営企画課課長 石川 和広
(産業建設部上下水道課課長)
学生課課長 藤江 隆
(消防本部消防課課長(消防司令))
総務課副主幹 亀田 美佳
(教育委員会生涯学習課副主幹)
総務課副主幹 相川 聖
(教育委員会生涯学習課副主幹)
経営企画課副主幹 雨宮 容一
(産業課副主幹)
総務課副主査 藤江 毅
(市民部市民課副主査)
学生課主事 津久井 陽美
(福祉保健部長寿介護課主事)
学生課主事 佐藤 奈智
(市民部地域環境課主事)

【昇任】

経営企画課主幹 横瀬 晴紀
学生課主幹 長坂 美和
経営企画課副主幹 清水 友美子
学生課主査 上野 剛
総務課主任 久田 江梨子

現場の中から考える

地域社会学科 准教授 鈴木 健大

都留市に隣接する道志村。もしかするとあまり馴染みのない方が、何人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

道志村は、神奈川県との県境に位置し、山間部の沢を流れる道志川沿いに集落が点在して形づくられました。村はほとんどが山野で占められ、村の面積の約1/3が横浜市の水源地となつているそうです。

人口約1,600人、かつては林業で栄えましたが、今では少子高齢化・人口減少が急速に進みます。村内に高校はなく、鉄道はもちろん、バスもほとんど便数がないことから、中学を卒業して村を出る子どもたちも少なくありません。

そんな村に、2020年東京オリンピック自転車競技がやってくることになりました。競技は、東京府中市の武蔵の森公園をスタート、山岳コースである道志村を抜け、山中湖、静岡県の富士スピードウェイへ至る男子244km、女子147kmのコース。「道の駅」には多くのバイクライダーが訪れていますが、最近ではサイクリストも何人も見かけるようになりました。

この4月より道志村及び山梨県と連携した、地域再生のプロジェクト型授業を開始しました。”移住・定住促進”がテーマの根底ですが、今回は「自転車」

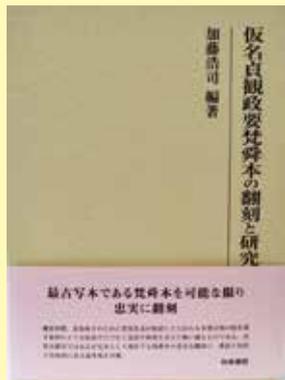


を切り口に、交流人口・関係人口の拡大を目指します。村から講義をいただき、5月の連休から「道の駅どうし」で、サイクリストへヒアリング調査を始めました。学生がとまどいながらも積み重ねた何日にも及ぶヒアリングの結果は、現場の中からでしか得ることのできない、これからの村おこしにつながる宝の山です。現場の声、現場の中からでしか得ることのできない視点を大切にしてほしいと思います。今後は体験活動や調査の分析・整理を行い、政策提案の上、学生自らの実践活動につなげていく予定です。

実社会の中で形作っていくのはしんどいことかもしれませんが、若い力をもって皆で楽しく乗り越えていきたいと思っています。

ぶんだい堂

仮名貞観政要梵舜本の翻刻と研究



加藤浩司 編著
2019年2月発行
和泉書院

◇かとう こうじ
国文学科 教授

源氏物語と平安朝漢文学



長瀬由美 著
2019年2月発行
勉誠出版

◇ながせ ゆみ
国文学科 教授

酒天童子絵巻の謎



鈴木哲雄 著
2019年6月発行
岩波書店

◇すずき てつお
地域社会学科 教授